

申し入れ

——有機フッ素化合物(PFAS)の残留・汚染状況の把握と

対策を採ってください——

鎌ヶ谷市長 芝田ひろみ様

2023年2月16日

「民主と自治の会」

藤代政夫



戸部光枝



渡邊俊彦



連絡先 445-9144

日頃より鎌ヶ谷の環境の保全と市民の健康に心を寄せご尽力くださる市政に敬意を表します。

沖縄嘉手納・普天間基地周辺で高濃度の PFOS(ペルフルオロオクタンスルホン酸)が検出され水源も近く大きな問題になっています。又 PFAS を使用する工場周辺でも同様の問題が指摘されています。

国も環境省と厚労省との合同会議で PFAS にかかる“環境基準”への格上げを含めて議論を開始しています。

日本では暫定目標値として飲料水の「PFOS+PFOA(ペルフルオロオクタン酸)の合計」目標値を 50 ナノグラム/L と。

米国では現行 PFOS+PFOA 値 70 ナノグラム/L の設定をしているがバイデン政権は PFOS で 0.02 ナノグラム/L、PFOA を 0.004 ナノグラム/L と大幅に強化するよう検討中とのことです。

PFAS は 20 年ほど前に発がん性の疑いが指摘され、2019 年までにストックホルム条約会議で製造・使用が原則禁止されています。

沖縄米軍基地周辺だけでなく、東京国分寺市では浄水場の井戸から PFOS+PFOA の計で 101 ナノグラムが検出され今市民団体によって検血希望者の血液調査もはじめられているとのことです。

鎌ヶ谷市には下総基地があり、以前基地で“PFOS を含む泡消化剤”が使われていた事実があります。

2020 年当会の市当局への申し入れ(7/27)に対する回答(9/3)の中で、

○下総基地の PFOS を含む泡消化剤の保有は 2020 年 3 月 31 日現在で 5140ℓ。

○PFOS が第一種特定化学物質に指定・施行された平成 22 年(2010 年)4 月以降は PFOS を含む泡消化剤は使用していない。

○令和 3 年(2021 年)度末までに処理業者と契約し処理を委託する予定。
が明らかになりました。

そこでお伺いいたします。

Q1、下総基地・基地周辺について



- ① 現在、下総基地には有機フッ素化合物PFOSを含む泡消化剤などPFASに係わるものの保有等がありますか?あったらどのくらいありますか?
- ② 2020年3/31に存在した5140ℓのPFOSを含む泡消化剤はどのように処理しましたか?
- ③ 下総基地では2010年4月以前PFOSを含む泡消化剤が使われていた様ですがどのくらいの量を使用しましたか?又、その使用期間はいつからいつですか?
- ④ 下総基地内及び基地周辺の水・土壌のPFAS(有機フッ素化合物)の残留・汚染状況はどのようになっていますか?どのような対策を採っていますか?

QII、下総基地以外の鎌ヶ谷市内における

- ① PFASに係るものの存在状況はどうでしょうか?
- ② 処理はどう行なわれていますか?
- ③ PFAS使用場所ならびに存在場所周辺の水・土壌のPFASの残留・汚染状況はどうなっていますか?

PFASについての住民の不安を解消するためにも一日も早く有機フッ素化合物に関する情報と対応状況をお教えいただきたいです。

*文書による回答を3月10日までにいただきたく存じます。